

令和8年度 集合研修一覧(航空・宇宙分野)

- 受講いただくにあたり、いくつか条件がございます。詳細は各研修の詳細ページにてご確認ください。
- 開催日時等は変更となる場合があります。

公益財団法人新産業創造研究機構
研究開発部門 航空・宇宙部

開催日時	研修タイトル	講師	概要・内容	対象者
8/5(水) 10:00～16:30	品質保証(全般)へ講義とワークショップへ	名古屋品証研(株) 古郡 秀一 氏	【概要】 航空機産業における品質保証要求について、契約から製造、納入後対応まで各フェーズにおける品質作りこみや品質改善のポイントを解説します。 ワークショップでは、特定工程を題材にグループ討議を行い、課題抽出や改善内容を取りまとめて発表していただきます。 【内容】 ・契約要求事項の理解とレビュー ・運用リスク管理 ・購買管理 ・工程設計・作業手順書への落とし込み・工程FMEA・FAI(初回製品検査) ・製造/検査:特殊工程管理・Nadcap認証について・製造工程変更管理・測定システム解析(MSA) ・納入後のクレームへの対処方法:FTA・なぜなぜ分析・ヒューマンエラー(H/E)発生時の対策 ・教育・訓練、力量管理 ・内部監査・マネジメントレビュー ・ワークショップ	・製造業の業務経験がある方 ・品質保証の担当、中堅を目指す方
8/28(金) 10:00～16:00	リスクマネジメントとFMEAセミナー	(株)クオリテム 奥野 利明 氏	【概要】 本セミナーでは、リスクマネジメントの基本的な考え方や導入の進め方を整理するとともに、FMEAの基本構造や実務での活用方法について解説を行う。 さらに、実際の業務において陥りやすい課題やその対応方法についても触れ、組織としてリスクを事前に把握し、関係者と共有しながらリスク低減活動を推進するための実践的な知識の習得を目指す。 【内容】 1. リスクマネジメントの基礎 2. リスクマネジメントの進め方 3. FMEAの基礎理解 4. FMEAの実務への適用 5. リスクマネジメント運用のポイントと課題	・品質管理、品質保証業務、設計開発、工程設計などの業務に従事されている又はその予定のある方々 ・入社数年の経験があり、自社の製造、生産工程に理解のあるご担当者様又は現場管理者様 ・新規のプロジェクト立上げ等を推進されるリーダー、マネージャークラスの方々
9/16(水) 10:00～16:00	JISQ9100内部監査スキルアップ研修～課題発見型内部監査の始め～	(株)テクノソフト 長尾 昌浩 氏	【概要】 JISQ9100内部監査員を対象に、自ら問題意識を持って内部監査を行い、課題を見つけてその解決策策定まで繋げることで、組織のレベルアップを図ることが出来るよう、内部監査員としての力量の向上を目指します。このためのチェックリストの作成演習も行います。 【内容】 1. 課題発見のための内部監査 ①トップマネジメントの方針に沿った内部監査 (監査基準に「品質目標」「マネジメントレビュー」での指示事項を含める) ②内部監査の強化 (適合性評価に顧客要求事項、有効性評価にプロセスのパフォーマンス指標を含める) ③監査チェックリスト作成演習 (個人作業/グループ討議/発表) 2. 強固なQMS構築のためのJISQ9100補足事項(SJAC9068B:2021)の紹介 (コンプライアンス教育、(品質)不祥事・不正行為の防止、生データの管理等を補足し推奨)	・JISQ9100:2016内部監査員資格を持ち、実際に監査経験がある方 ※上記に該当する方のみ受講いただけます。
10/16(金) 13:15～16:45	APQP/PPAPに関連する活動の解説	三菱重工航空エンジン(株) 佐藤 剛 氏	【概要】 航空エンジン業界のAS13100規格に基づくAPQP/PPAPの基礎と実践を解説。 品質確保から部品承認までのプロセス、必要書類、運用ポイントを具体例で紹介。 品質管理・生産・設計部門の方はもちろん初心者にも最適。 質疑応答で理解を深め、高品質・安定生産のスキル習得を支援します。 【内容】 航空エンジン業界で求められるAS13100規格に基づく品質管理手法であるAPQP(Advanced Product Quality Planning)およびPPAP(Production Part Approval Process)について、基礎から実践まで幅広く解説します。 APQPは製品開発の初期段階から品質を計画的に確保するためのプロセスで「計画」、「製品設計および開発」、「工程設計および開発」、「製品と工程の妥当性確認」、「継続生産、使用および納入後サービス」の5段階で構成された活動です。 PPAPは量産開始前に部品の品質を確認し顧客の承認を取得するための手法です。 これらの手法を適切に運用することで、高い品質基準の達成や納期遵守、顧客満足度の向上を実現できます。 AS13100に準拠したAPQPの各フェーズの概要とポイント、PPAPの必要書類や評価基準、実際の運用事例をワークショップの演習を交えて解説し、自社にて即活用できる知識を提供します。	・航空エンジン部品ほかの製造に携わる企業様の品質保証、生産技術、生産管理、設計部門の方々 ・これからAS13100に基づくAPQP/PPAPを学びたい方
11/24(火) 8:50～17:30 11/25(水) 9:00～17:30	非破壊検査概論(2日間)	コベルコビジネスパートナーズ(株) 坂元 克行 氏 田上 篤志 氏	【概要】 非破壊検査の種類と特徴および用途を学び、内部傷検出法の超音波探傷試験(垂直探傷)、表面傷検出法の磁器探傷試験(溶接部の探傷)および、浸透探傷試験(溶接部の探傷)を体験します。 【内容】 ・1日目 非破壊検査概論/超音波探傷試験/垂直探傷による板厚測定(実習)/超音波探傷試験の機器/各部の測定(実習)/垂直探傷法について/円形平面欠陥とエコー高さ(実習)/超音波厚さ計について/斜角探傷/その他の超音波探傷 ・2日目 磁気探傷試験の原理/磁石の磁束線の向き(実習)/電流が作る磁界/電流と磁界の向き(実習)/磁化方法/極間法による平板突合せ溶接部の探傷(実習)/浸透探傷試験による表面さすの検出法/溶剤除去性染色浸透探傷試験(実習)	・非破壊検査をこれからご自身で実施する方 ・非破壊検査を依頼する担当者の方 ・非破壊検査の立会検査に従事する方 ・非破壊検査にご興味がある方
12/16(水) 10:00～15:30	Nadcap根本是正処置	名古屋品証研(株) 古郡 秀一 氏	【概要】 大手重工メーカーで品質保証業務に長年従事した技術者が、PRIが推奨するNCRIに対する根本原因の究明とその是正対策の検討方法をARP9136(9S方法論)の考え方を参考にわかりやすく解説します。 また、不適合事例をもとにグループでのワークショップ形式で、根本原因の究明と是正対策の立案までの進め方を学びます。 【内容】 ①根本原因の究明と是正対策の検討方法…解説(約2時間) ②不適合事例による根本原因の究明と是正対策の立案検討…ワークショップ(約2時間)	・航空宇宙防衛分野で、Nadcap(特殊工程/非破壊検査)を担当されている方や製品の製造や検査の業務に携わっている方 ・航空宇宙防衛分野以外でも、製品を製造している企業の生産技術部門、製造部門、品質保証部門の方々